

現在、インターネット、スマートフォン、携帯電話、クラウドサービスを含め人々の生活は様々な ICT に支えられています。現在は株式売買取引など一瞬一秒を争う情報通信によるビジネスが増え、ICT 環境をいかに迅速に、安心して、かつ安全に維持提供していくかが今後の国家インフラとして求められています。

昨今、これらの課題の解決へ向けて、キャリアネットワーク、クラウド、データセンター領域等において Software-Defined Network (SDN)、Network Functions Virtualization (NFV) などの技術の適用による解決方式が注目を集め、各所での検討が進められています。サーバ、ストレージなどの分野では仮想化技術の普及が急速に進んでおり、仮想化技術の各種監視管理、自動化技術により柔軟なインフラ構築が可能になってきています。一方で、ネットワーク分野は、従来ネットワーク機器が専用機器で構成されており、設計、設定、運用が個別の対応を行わざるを得ず、インフラ構築に制約がありました。そのため、柔軟なネットワークインフラ構築へ向けた仮想化技術の導入が期待されています。

本シンポジウムでは、「SDN 技術」や「NFV 技術」に関してキャリア事業者の観点、ベンダの観点で最先端の研究開発動向を議論し、国際競争力強化も見据えた実用化や技術開発の課題や対応策についての議論を行います。

第 1 部では、まず、「SDN/NFV 技術を活用したネットワーク仮想化へ向けた取組み」について、キャリア事業者の観点、ベンダの観点で、研究開発している技術要素の現状の取組み、及び今後の実用化に向けた課題について、各分野の第一線で御活躍されている方々をお招きし、御講演を頂きます。

第 2 部では、アカデミアの視点から、研究開発している技術要素の現状の取組み、及び今後の実用化に向けた課題について、各分野の第一線で御活躍されている方々をお招きし、御講演を頂き、今後のキャリアネットワークインフラストラクチャーに向けて、ユーザの期待、事業者の期待、ベンダの期待の観点で我々は何をすべきなのか？ 将来の展望は何かについて、パネルディスカッションを行います。

日 時：2013 年 10 月 3 日（木） 14：00～18：00

会 場：幕張メッセ国際会議場 303 会議室

テーマ：SDN と NFV 技術を活用したネットワーク仮想化最先端技術動向

第 1 部 講演の部

14：00～14：05 開会挨拶

茨木 久氏 電子情報通信学会東京支部支部長、NTT サービスエボリューション研究所所長

14：05～14：30 “ネットワーク仮想化技術を用いた柔軟なコアネットワーク実現への取組み”（講演 20 分、質疑 5 分）

清水敬司氏 (株)NTT ドコモ先進技術研究所

14：30～14：55 “複数拠点に跨る仮想化通信リソースの可視化”（講演 20 分、質疑 5 分）

大橋正彦氏 富士通株式会社ネットワークソリューション事業本部

14：55～15：20 “通信要求の変動に柔軟に対応するための通信サービスの仮想化への取組み”（講演 20 分、質疑 5 分）

岩田 淳氏 日本電気株式会社情報・ナレッジ研究所

15：20～15：45 “NFV における標準化活動とモバイルシステム仮想化の取組みについて”（講演 20 分、質疑 5 分）

横田英俊氏 (株)KDDI 研究所

15：45～16：00 休憩

第 2 部 パネルディスカッション

16：00～16：25 “SINET におけるネットワーク仮想化と SDN 技術への期待”（講演 20 分、質疑 5 分）

漆谷重雄氏 国立情報学研究所学術ネットワーク研究開発センター長

16：25～16：50 “SDN のさらなる高度化への挑戦と JGN-X/RISE への応用”（講演 20 分、質疑 5 分）

河合栄治氏 独立行政法人情報通信研究機構テストベッド研究開発推進センター

16：50～17：05 休憩

17：05～17：55 パネルディスカッション

「SDN」と「NFV」へ向けた期待と今後の課題について

・座長

漆谷重雄氏 国立情報学研究所学術ネットワーク研究開発センター長

・パネリスト

上記御講演者の方々

17：55～18：00 閉会挨拶

茨木 久氏 電子情報通信学会東京支部支部長、NTT サービスエボリューション研究所所長